

事業所名

## 支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

18 日

法人（事業所）理念		『できない』はなく『できる』から始める。他児や他者とのコミュニケーション能力・社会性を身につけ、住み慣れた地域で生活が維持できるよう支援していく。							
支援方針		来所するとまずは『宿題』『個別療育』に取り組むこと。 遊びの中で想像力が持て身につけていく製作活動を取り入れ支援していく。							
営業時間		9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人 支 援	健康・生活	室内活動・・・おやつ作り、ランチ作りをするなかで基本的な生活スキルを身につけていくよう支援している 屋外活動・・・毎週土曜日、お出かけをしています。月2日は、公共の交通機関を利用しお出かけ。月1日外食ランチ。月1日車でお出かけを予定しております。 外出することで、社会性や社会のルールを覚えていく。他者や他児に迷惑をかけないように行動ができるようになる。団体行動で周りに気配りをしながら行動ができるようになる。							
	運動・感覚	宿題やプリント療育をすることで机にきちんと座り座位を保つよう支援している。 プリントや宿題のない児童には、各児童のレベルにあった療育グッズを利用し支援を行っている。 公園遊びやお散歩をし、移動機能、運動機能の向上を目指している。							
	認知・行動	学校の宿題やプリント療育で教科学習の基本的な取り組みを行っている。 少しでも座位を保ち集中できる療育を取り入れ支援している。							
	言語 コミュニケーション	他児や他者と遊ぶことで会話が増えていく。 発語がない児童に関しては職員が他児と本児の間に入り発語がない児童のフォローを心がけ支援している。							
	人間関係 社会性	野外活動時、電車・バス移動をし基本的な社会のルールが理解できるよう、お出かけ前には、児童に歩く際の注意や電車・バスに乗る際の注意、説明をしお出かけ支援を行っている。 団体活動をする中で他児や他者に対して気配りができ、他児や他者に対して思いやりが持てるよう支援している。							
家族支援		子育ての悩み、その他相談事があればLINEや事業所等でお話を伺っています。			移行支援		高等部になると就労活動に役立てるよう作業を取り入れている。		
地域支援・地域連携		利用している児童の兄弟・姉妹や職員の子供に、お出かけの際にボランティアをして貰うことがある。			職員の質の向上		毎月2回、研修を行っている。その他研修や講習があれば参加してもらっている。 毎日、各児童についての見通しや様子を話し合っている。		
主な行事等		*避難訓練 *毎月土曜日のお出かけ *季節の壁面作り *おやつクッキング *長期お休みはランチクッキング							